

地域課題実習 釣り班実習レポート

釣り班：春日浩輝、金澤優人、田中 駿
深田祐輝、横田悠貴、水上稀韻

1. 初めに

私たちの班では、釣りをメインとして自然に触れ合う体験を2021年12月11日に行いました。本来は夏に開催を予定していたこの釣り体験実習ですが、新型コロナウイルスの影響で延期になったことで、この寒い時期に開催することとなりましたが、天候にも恵まれ、とてもよい釣り日和でした。その様子を簡単にまとめたいと思います。

2. 実習内容

今回の実習では、12時にみなとみらいの赤レンガ倉庫近くの沿岸にて集合し、そこから説明なども含めて約2時間程度の体験をしました。今回の釣りでは「サビキ釣り」という、餌に似せたサビキ針という小さな針を使って釣る方法でチャレンジをしました。時期的にはとても微妙な時期であり、なかなか釣れるビジョンは見えずらいものでしたが、周りには数人の釣り人の姿も。うまくいけば脂のたっぷり乗った冬アジという希望をもってサビキ釣りを行いました。

3. 結果・最後に

餌を購入したにおいをばらまくための餌なども活用して粘ったものの、結果的には釣果はなく、潮風と横目に見えるクリスマスマーケットの雰囲気を感じるだけとなりました。しかし、海に糸を投げ入れるときの高揚感や、釣れないとき特有の感情が無になる感覚など、貴重な経験をする事ができたのではないかと思います。唯一経験できなかった釣れた時の喜びや達成感は、ぜひまた別の場所で味わっていただければと思います。

最後に、主催側の準備不足などで加えて一度延期になったこと及び連絡が遅くなったことを再度お詫び申し上げます。そして、来ていただいた計10名の方々、ありがとうございます。

